

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月29日

事業所名 ひぬまきつず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		身体を動かして遊ぶスペースと、おもちゃで遊ぶスペースを分け、遊びの空間を確保している	基準は満たしているが、利用児童が多い時には狭く感じることもある
	2	職員の配置数は適切である	6	1		日によっては加配があると良い時もある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		一日の流れを可視化し、わかりやすい環境を設定している	子どもたちがいつでも過ごしやすい環境への配慮に努める
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		療育終了後、清掃、消毒を行い清潔に心掛けている	数か所修繕が必要な部分も見られるため、対応していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		職員会議を通して正職員のみならずパート職員への目標の共有にも努める
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			今後、マチコミを通してのアンケートなども行い業務改善に努めていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページでの公表のほか、保護者への結果を郵送している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		第三者評価は実施していないが、視察や見学、体験を通して広く意見を伺うように努めていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	コア研修や法人内外での研修を常に確保している	パートタイムの職員にも研修内容を共有できる機会を設ける
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		保護者とのやり取りの中でニーズを引き出し、児童発達支援計画に落とし込んでいる	アセスメントシートの内容を充実させ、個別支援計画作成にいかしていきたい
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		MEPA-Rを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		ガイドラインの内容を職員間でも理解し、支援のねらいを共通認識していけるような機会を設立していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			児童発達支援計画の共有を都度行うようにしている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	組織的にプログラムを決定している	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	ムーブメント以外にもリズムやミュージックケアを取り入れている	毎回リーダーを変えることで、プログラムが固定化しないようにしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	7		個別、集団に合わせて柔軟性のある支援計画を作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		令和6年4月より支援時間前に設定していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		職員全員での打ち合わせは難しい部分もあるが、都度職員間での振り返りは行い、共有に努めている
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録も取りつつ、口頭での共有も行っている	日々の支援は記録に残し、職員間でも支援の改善について話し合っている
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		六ヶ月に一度モニタリングを行うことで、見直しの判断を行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		必要に応じて児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		町の子育て支援センターと連携を行っている	保健センターとの連携は行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		現在医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、利用がある際には連携が取れる体制を整えている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	保護者からの要望に応じてひぬまきつずでの様子を紙媒体で共有している	保護者を通じての共有、相互理解を図ることが多い
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			教育委員会を通しては行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	研修に参加し助言等を受け支援向上に努めている	他事業所との支援に関する情報交換は必要に応じて行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6		利用児童の9割以上が保育園等併用児童であり、普段より障害のない子との活動の機会があるが、今後保護者の声を聞きながら必要な対応をしていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3		要請があれば積極的に対応している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		受け入れ時と終了時には必ず保護者と顔を合わせて話し合い、共有理解に努めている	保護者と子どもの様子について話し合っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	4	保護者からの話を聞き、アドバイスをやっている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧な説明を心がけている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			相談の申し入れがあった際には迅速かつ適切対応するよう心がけている 令和6年度は「なんでも相談会」を予約制で行う予定としている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	今年度は懇談会を開催	コロナ禍も収まってきたため今後、計画を予定していく
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談や申し入れがあった場合には適切な職員が迅速に対応するように努めている	送迎のニーズを全て受け入れるのは難しいが、職員間で検討している
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		今後、マチコミなどで活動の様子を発信できるように努めていきます
	38	個人情報に十分注意している	7		個人情報は台帳に保管し、管理している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	今年度は、夏祭りを開催	祝祭等積極的に受け入れている
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		周知については不十分な部分もある為、必要な情報の周知・説明に努める
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月に一度避難訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			保護者に薬剤情報をお預かりし職員間での共有に努める
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	アレルギーについては家族の意向で対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事例はファイリングされ共有化している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		毎月職員に虐待防止に関する誓約書提出を義務付けている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			やむを得ず行う際には保護者への説明、支援計画への記載をするように体制を整えている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。